

大学院人間文化総合科学研究科（博士前期課程）

令和5年度4月入学試験問題

【 一 般 選 抜 】

生 活 文 化 学 専 攻

〔 専 門 科 目 〕

試験日：令和4年7月9日(土)

注 意

1. 試験科目は、受験票の志望研究領域の第1志望に記入した科目を選択すること。
選択にあたっては、別紙「志望専攻・コースごとの受験すべき試験科目について」
を参照すること。
2. 解答は、別添の解答用紙を使用すること。必要に応じて複数枚を使って構わない。
(2枚同封、3枚目以上は監督者に申し出ること。)
3. 使用する解答用紙のすべてに受験番号、氏名及び選択した試験科目名を記入
すること。
4. 総ページ数 － 2ページ（1ページ目は下書き用紙）

試験科目名：社会心理学

- 1 環境問題に関する情報としてどのような他者からの情報を信頼しているかを調べるため、杉浦（1998）は「エコロジーダイアル」という、環境団体と企業がタイアップした電話料金のサービスに対して、どのような人から勧誘された時に加入意図が高くなるかを検討しました。その結果を示したものが以下の図 1 です。メッセージの送り手は電話会社、環境団体、友人のいずれか、メッセージの内容は環境保全重視または経済性重視のいずれかでした。この結果から何が読み取れるか、またそのような結果になったのはなぜであると考えられるか、論じなさい。

図は、著作権の関係で掲載しておりません。

図 1 エコロジーダイアルの要請主体と要請内容が加入意図に及ぼす効果

- 2 a) 「ステレオタイプ」「偏見」「差別」について、それぞれの違いを説明しなさい。
b) 身近な偏見の事例を一つ取り上げ、それについて偏見を低減するためにはどのような方法が効果的であると考えられるか、論じなさい。
- 3 次の用語について、それぞれ簡潔に解説しなさい。（注：c,d は統計用語です）
- a) 社会的ジレンマ
 - b) 記述的規範
 - c) 母集団
 - d) 帰無仮説

杉浦淳吉（1998） 環境配慮行動の承諾に及ぼす要請内容と要請主体の効果—エコロジーダイアルを用いた検討 実験社会心理学研究, 38, 39-47.